
にゃんこエド好きに10のお題

桐生 拓人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

にゃんこエド好きに10のお題

【Nコード】

N6678A

【作者名】

桐生 拓人

【あらすじ】

そのまんま。にゃんこえどと飼主のマスターグのはなしです

1 ひろってください・(前書き)

この話は、エドがやんこです。嫌いな方はオ引き返し下さい

1 ひろってください .

お空にはたくさん星

そしてまっしろな

つきあかり

弟は

お父さんは

お母さんは

そんなところに住んでいるの

逢いたくなったらいつでもみあげてくれる

いつでも見守っていてあげるから

۰۸۳۵۳۵۳

1・「ひるってください」

すっかり暗くなった司令部内。定時をとつくに過ぎたここでは、残っているのはごく僅かな居残り組みのみとなってしまうていた。空模様もそろそろ泣き出しそうだ。

「…終わったっ」

机の上の死体　上司が呟いた。朝はコレでもかというほど積みあがっていた書類の山も、今ではすっかり平野と化していた。

ああ。上司の顔が良く見える。

「む、なんか文句でもあるのか？ハボック」

「いえいえ。お疲れ様でした」

ロイは思い切り背伸びをすると、立ち上がってロッカーへと向かった。

それを横目で捕えながら窓を覗くと、もうすっかり地面までびしょ濡れだった。

「あーあ。降ってきちゃいましたよ？雨」

ハボックが振り返らずに言う。ロイはコートを抱えて同じように窓を覗き込んだ。

「ん？なんだあれは？」

「え、どれっすか？」

ロイは中庭の、丁度中間あたりの合歡の木を指差した。細目で良く見ると、灰色に塗りたいくられた中で、唯一光る金色。合歡の木の下で雨宿りをしているようなぐあいといったところか。

「猫っすかね？」

「さあな」

ロイはコートを羽織ると、扉に向かった。

「私は帰るが、宿直は鍵を戻しておくよう言っておいてくれ」

「わかりました」

ザアアア

…

思ったより強い雨脚だった。

傘をしているにもかかわらず、肩も足も既にじつとりとぬれていた。これは早急に帰って温まる必要があるそうだ。

そう思い足を速めていけば、丁度合歡の木の根元に差し掛かっていた。

そういえば、さっきのあれは何だろう？

錬金術師という者は皆同一にきつと好奇心から先に生まれてくる生き物だろう。

ロイもまた然り。先ほどの決意も忘れて、幹の周りを歩き始めた。すると、いた。

先ほどの金色の物体。草の陰に隠れているが、恐らく猫であろう。ところが、覗き込んでみるとまた違った容姿のなんとも説明し難い生物であることが判明した。一言で言えば合成獣。それも、違法と

されるヒトと動物の。

それが、幹の根元で横たわっていた。瞼を硬く閉ざし、顔色も大分悪い（元からかは判りかねるが）。猫や犬は兎も角、ヒトの形をしたものを見過ぎすのも寝覚めが悪い。そんな訳で、ロイは物体×を拾って帰ることにした。今後の苦勞も考えずに…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6678a/>

にゃんこエド好きに10のお題

2010年10月9日18時56分発行